



第三回東京国際ろう映画祭会場上映&初のオンライン上映 ハイブリッド開催！「異質」をテーマに、ろうにまつわる 32 作品の上映ラインナップ・関連企画決定！！

報道各位、関係者各位

平素よりお世話になっております。第三回東京国際ろう映画祭の全上映ラインナップ、ならびに関連イベントが決定しましたのでお知らせいたします。今回、会場上映（2021年12月4日(土)・12月5日(日) 場所 渋谷・ユーロライブ）に加え、初めてオンライン上映（2021年12月4日(土)～12月12日(日)）を実施いたします。

東京国際ろう映画祭は、ろう者の社会や芸術の発展と育成、また誰もが自由に映画と芸術の興味を共有できる場や聴者とうろう者の相互理解の場を創出することを目的としています。

***ろう者の視点で厳選した世界中のろうにまつわるユニークな映画作品を一挙上映！**

第三回のテーマは「異質」です。ろう者視点でセレクトした、最新の映画から往年の話題作まで 32 作品を 9 日間で一挙に上映します。この世界には様々な人がいて、私たち一人ひとりにとっての「異質」もあらゆる形で存在しています。もし、異質さと出会ったらあなたはどうしますか？「異質」はあなたにとってどんな存在ですか？そうした問いを静かに投げかけるような映画作品を皆様にお届けしていきます。この機会にろう者ならではの視点をぜひご体験ください。

◎秀作ぞろいの公募 11 作品を上映！一般投票で観客賞を表彰！

19 の国と地域から 41 作品の応募があり、その中から 11 作品を選出しました。11 作品のうち 8 作品はろう者と難聴者、CODA（ろう者を親に持つ聴者）が監督です。これまでろうに関する映画は欧米の作品が目立ちましたが、今回はエジプトやフィリピン、ミャンマーなど、より幅広い文化圏から作品が集まりました。

ジャンルも様々ないずれも見応えのある秀作ばかりです。公募作品は上映後、一般観客を対象に投票を募り、最も支持を得た作品を最終日のクロージングセレモニーで観客賞として表彰します。

◎初のオンライン上映！オンライン限定の作品も。

今回 東京国際ろう映画祭の初めての取り組みとして、オンライン上映を実施します。

12月4日～12日の9日間、全国どこからでも視聴できます。釜山国際映画祭で韓国映画監督組合賞を受賞した『私はポリ』の他、ろう者当事者監督の今村彩子監督作品『きこえなかったあの日』『友達やめた。』や今井ミカ監督『虹色の朝が来るまで』など、オンライン限定での上映作品を多数ご用意しています。（配信時間は各作品によって異なります。詳細は特設サイトをご覧ください。）

◎短編特集では音声ガイド付き上映も実施！

2021年アカデミー短編映画賞にノミネートされた『フィーリングスルー』、聴者の世界を生きてきたろう者のアイデンティティをめぐる『ノーマル』、白人社会のベールを踏むにする『二重差別』—今をめぐる社会問題にフォーカスした話題作を、3作品セットで上映します。ろう者、聴者のみならず、盲者の方にも作品をお楽しみいただくために音声ガイドもお選びいただけます。

・会场上映：12月4日(土)10:30 上映作品 『フィーリングスルー』『ノーマル』『二重差別』

・オンライン配信：1回目配信：12月4日(土)10:30より72時間／

2回目配信：12月7日(土)21:00より72時間／

3回目配信：12月9日(土)20:00より72時間

◎全作品の英語字幕付き上映&トーク・シンポジウムでの多言語情報保障を実現！

海外の観客にも本映画祭をお楽しみいただけるよう、全ての作品に英語字幕を付け上映します（『佐々木、イン、マイマイン』は日本語字幕のみ提供）。また、映画祭で開催するオンラインでの舞台挨拶やトークイベントでは日本手話通訳はもちろん、アメリカ手話・国際手話通訳、さらに音声認識アプリUDトークによる日英リアルタイム字幕表示を行い、多言語の情報保障・情報支援に対応します。

*これまでの東京国際ろう映画祭で上映された作品もオンライン配信！

2017年から開催してきた東京国際ろう映画祭で好評を博した6作品を、今回オンラインにて配信いたします。（日本限定）
上映作品：『リバース・ポリティ』『音のない世界で—Sound and Fury—』『音のない世界で—6年後—』『シニエー手話を話す—』『手話時代』『ヴァンサンへの手紙』

<東京国際ろう映画祭 開催概要>

【主催・運営】東京ろう映画祭実行委員会

【補助】文化庁 令和2年度第3次補正予算事業 ARTS for the future! コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業

【助成】公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

【協賛】Palabra 株式会社・ShamrockRecords 株式会社（音声認識アプリ「UDトーク」開発会社）

【後援】一般財団法人全日本ろうあ連盟 / 公益社団法人 東京都聴覚障害者連盟 / 東京大学 先端科学技術研究センター 熊谷研究室

【提携】静岡×カンヌ×映画プロジェクト実行委員会

【協力】特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク

第三回東京国際ろう映画祭上映作品一覧（全32作品）

◆ FOCUS ON ASIA TDF 6 作品

日本・韓国・台湾を中心に劇場公開に先駆けた先行上映作品や日本初上映作品をセレクトしました。



『私だけ聴こえる』 Only I Can Hear ◎先行上映

監督：松井 至 2021年/日本/アメリカ手話・英語・日本語・日本語字幕・英語字幕/53分

ろう者の親から生まれた耳の聴こえる子たち、CODA(Children Of Deaf Adults)。家ではろうの世界で、外では聴こえる世界で過ごす彼らの多くは世間にくつろぎの者として扱われることにストレスを感じ、<耳が聴こえるから>ろうの世界と完全には馴染めない。CODAという概念が生まれたアメリカで、そのコミュニティを取材した初めての長編ドキュメンタリーとなる本映画は、15歳のCODAたち3人が進路を決める3年間を追う。アイデンティティを形成する多感な時期を通して、CODAの知られざる世界を描く。TOKYODOCS 2016 最優秀企画賞、HOTDOCS2021出品。



『無聲』 The Silent Forest ◎先行上映

監督：コー・チェンニエン(KO Chen-Nien) 2020年/台湾/台湾手話・台湾語/英語字幕・日本語字幕/104分/会場

ろう学校に転校してきた少年はスクールバスで少女が複数の男子生徒から性暴力を受けているのを目撃してしまう。ショックを受ける少年に、主犯格の少年はこの性暴力は「ゲーム」である、と語るのだった。台湾で実際に起こった事件を元にしたコー・チェンニエンの監督デビュー作。2020年金馬獎にて8部門ノミネート、最優秀新人俳優賞・最優秀音響賞受賞他、2021年台湾映画批評家協会賞などにもノミネート。



『田中家』 The Tanaka's ◎ワールドプレミア

監督：牧原 依里 2021年/日本/サイレント/日本語字幕・英語字幕/60分

東京都内の片隅に立つ一軒家で田中真衣とその姉・美穂は、美穂の旦那・慶祐と共に生活をしている。繰り返す変わらない日常に「これからどうするの」と家族から問いかけられた真衣は…。家族の不条理を描いた無音の60分間。ろう者の「オンガク」を問う映画『LISTEN リッスン』の共同監督、牧原依里がこの世界の複雑さをショットで捉える中編ドラマ。育成×手話×芸術プロジェクトの一環で制作。



『ジンジャーミルク』 Ginger & Honey Milk ◎ワールドプレミア

監督：今井 ミカ 2021年/日本/日本語・日本語字幕・英語字幕/60分

「自分はゲイかも」と玲衣は友人の健斗にカミングアウトされる。2020年4月コロナ禍で緊急事態宣言が発令され、生活の変化を強いられながらも、大学生活を送るろう者と聴者の4人の姿を描く。彼らの甘くて辛い思いが交差した複雑な四角関係を綴るヒューマンドラマ。映画『虹色の朝が来るまで』監督の待望新作！育成×手話×芸術プロジェクトの一環で制作。



『オールド ロング ステイ』 Old Long Stay

監督：飯山由貴 2020年/日本/日本語・日本語字幕・英語字幕/170分

日本に生まれ育ち、税金を納めても、帰化をしても、生活の最低保障である年金をもらうことができない。ある年齢以上の外国籍の障害者に対しては障害年金が支給されないという理不尽な差別に対し、2000年3月、在日コリアンのろう者7名が京都地方裁判所で裁判を起こす。監督は原告と支援者へのインタビューや過去の記録映像を通して「障害」と「民族」の歴史的かつ政治的な問題に向かい合っていく。ヨコハマトリエンナーレ2020にて制作・上映。



『私はボリ』 BORI ◎アジアプレミア

監督：キム・ジユ 2018年/韓国/韓国手話・韓国語/日本語字幕・英語字幕/110分/オンライン（視聴可能国：日本）

「私はろう者になりたかった」。海辺の町で家族と仲良く4人で暮らす11歳の少女ボリ。彼女の家族は皆ろう者で、その中でボリはただ一人の聴者だった。学校の友達と声で話すことに慣れた彼女は、家族に日々の出来事を話したいのに上手く伝えることができず、そんな自分にジレンマを抱くようになる。やがて彼女はなぜ自分だけが違うのかと考え始め、孤独感を募らせていく。第23回釜山国際映画祭 韓国映画監督組合賞 監督賞、第24回ドイツ・シュリンゲル国際映画祭 観客賞&ケムニッツ賞の2冠など国内外の映画祭から注目を集めた、CODAを取り巻く感情と家族愛を描いた物語。

◆ 短編特集 3 作品

当事者出演、アイデンティティ、人種差別など今をめぐる社会問題にフォーカスした話題作3選を併映。



『フィーリング スルー』 Feeling Through ◎ジャパンプレミア

監督：ダグ・ローランド 2019年/アメリカ/アメリカ手話・英語/日本語字幕・英語字幕/19分/オンライン（視聴可能国：全世界）

パーティーの後にニューヨークの街を歩く若い少年は、途中で助けを求める盲ろう者の男性に出会う。二人は一夜を共にし、思いつけない友情を育むことになる。2021年のアカデミー短編映画賞にノミネート、『愛は静けさの中に』の主役を演じたろう者の俳優、マリー・マートリンが製作総指揮を務めている。



『ノーマル』 This is Normal

監督：ライアン・ウェルシュ/ ジャスティン・ギニングス 2013年/アメリカ/アメリカ手話・英語/日本語字幕・英語字幕/20分/オンライン（視聴可能国：全世界）

聴者に囲まれた環境で育ってきた、耳が聴こえない女性。彼女はろう者のコミュニティに馴染もうとするが…。作中で描かれる彼女の「ノーマル」に対して、観客の間では賛否両論の物議を醸した。ろう者のアイデンティティを受け入れるか、完全に放棄するか…。1人の女性の葛藤を探求し、「自分」のアイデンティティをめぐる短編ドラマ。



『二重差別』 Double Discrimination

監督：リンコー・バルバガ 2014年/イギリス/イギリス手話/日本語字幕・英語字幕/27分/オンライン（視聴可能国：全世界）

アジア系のろう者でもあるリンコー監督は、ろうコミュニティの人々に人種差別の経験について取材していく。「差別された経験がある」と吐露するアジア系や黒人のろう者と「実際にそのような差別は見たことがない」と語る白人のろう者。ろう者の中にあるヒエラルキーに真正面から迫った短編ドキュメンタリー。

◆特別上映企画 日本語字幕付き初上映作品

ろう者へ多様な映画の鑑賞機会を。東京国際ろう映画祭がバリアフリー字幕を制作・上映。



『佐々木、イン、マイマイン』 Sasaki in My Mind

監督：内山 拓也 2020年/日本/日本語/日本語字幕/119分/オンライン（視聴可能国：日本）

俳優になると上京したものの鳴かず飛ばすの日々を送る27歳の悠二は、ある日、高校時代の同級生・多田と再会する。会話を交わすうちに高校時代のカリスマ的存在だった佐々木と仲間たちとの楽しさもほろ苦い日々が思い起こされていく…。誰の心の中にもいる「ヒーロー」との日々が蘇る20年代を切り開く青春ドラマ。第33回東京国際映画祭など国内外映画祭にて絶賛され、2020年度新藤兼人賞・銀賞など様々な賞を受賞。

◆ろう者監督 特集 5 作品

複雑さに満ちたこの世界をろう者の視点を通して捉えた逸品ぞろいの5選。ろう者ならではの眼差しでこの世界を見つめています。



『オーディズムについて対話しよう』 Audism Unveiled

監督：ベン・パハン/ H.ダークセン・パウマン/ファウンド・モンテネグロ 2008年/アメリカ/アメリカ手話・英語/日本語字幕・英語字幕/57分/オンライン（視聴可能国：日本）

オーディズム（Auditory（聴覚）とRacism（人種差別）を合わせた造語。聴こえることや聴覚に基づいた行動が優れているという考え方でそれに準ずる差別行為や制度。1988年に米国のろう者のためのギャローデット大学で起こった、ろう学長の選出を求める学生運動「デフ・プレジデント・ナウ」を契機に、ろう者はオーディズムを自覚しはじめる。彼ら自身が経験した抑圧や差別を語り、これまで蓋をされてきたオーディズムについて明らかにしていく…。



『私たちはそこにいた…私たちはここにいる』 We were there…we are here

制作：ボアズイチ大学 The SIGN-HUBチーム 2020年/ヨーロッパ/各国手話/日本語字幕・英語字幕/42分/オンライン（視聴可能国：全世界）

ヨーロッパ内のろうコミュニティを持つ歴史や手話言語などをリサーチしてきたSIGN-HUBプロジェクトによる、ろう高齢者への取材映像。カタロニア手話、フランス手話、ドイツ手話、イスラエル手話、イタリア手話、オランダ手話、スペイン手話、トルコ手話—それぞれの手話言語を話す彼らに、個人的な物語や仕事、教育、歴史上の出来事など、彼らが経験してきた過去の経験をたずねていく。



『虹色の朝が来るまで』 Until Rainbow Dawn followed

監督：今井 ミカ 2018年/日本/日本手話・日本語/英語字幕・日本語字幕/63分/オンライン（視聴可能国：全世界）

手話サークルで知り合ったろう者の華とあゆみ。初めて同性に惹かれた華は、戸惑いつつもあゆみと交際することに。しかし両親にあゆみとの交際について話すと、母から拒絶されてしまう。母の態度にショックを受ける華を見かねたあゆみは、LGBTQのろう者の集いに華を誘う。そこには悩みを抱えながらも前向きに生きる人々が集っていた。ろう者の監督が描く、全編手話で綴られた、ろう者×LGBTQの心温まる物語。



『友達やめた。』I quit, being "friends"

監督：今村彩子 2020年/日本/日本手話・日本語/日本語字幕・英語字幕/84分/オンライン（視聴可能国：全世界）

空気を読みすぎて疲れてしまい、人と器用につき合うことができない、アスペルガー症候群(ASD)の、まあちゃん。理解があるような顔で、内心悶々としたものをかかえる、生まれつき耳のきこえない今村彩子監督。些細なことで、ふたりの仲がギクシャクするたびに自分の問題なのか、まあちゃんの問題なのか、葛藤に悩みながら、監督はカメラを回し始める。あいち国際女性映画祭、ドイツのニッポンコネクションにて上映。



『きこえなかったあの日』 Silence on that Day

2021年/日本/日本手話・日本語/日本語字幕・英語字幕/116分/オンライン（視聴可能国：全世界）

2013年に『架け橋 きこえなかった3.11』を発表してから10年…。東日本大震災直後に宮城を訪れた今村彩子監督が抱いたのは「耳のきこえない人たちが置かれている状況を知ってほしい」という痛切な思いだった。彼女は、現在も宮城に通い、熊本地震、西日本豪雨、新型コロナウイルスの流行といった困難の渦中にある耳のきこえない人たちの姿を記録し続けている。みんなが安心して暮らせるその日まで…。今村監督がみつめた、耳のきこえない人たちと災害、その10年の記録。

◆公募作品A 4 作品(併映)

公募作品から11作品を選出。今を映し出すユニークな傑作揃い。視聴者投票で観客賞を決定します。



『ベント』 Bent ◎国際ナショナルプレミア

監督：マルティナ・ビル 2020年/アメリカ/アメリカ手話・英語/日本語字幕・英語字幕/2分/サスペンス
車の中で不穏な動きをするろう者の大学教授は、自分の行動に関する決断を迫られている。



『ミスター ミシェル』 Mister Michel ◎アジアプレミア

監督：ジュリアン・ブルジュ 2018年/フランス/フランス手話・フランス語/日本語字幕・英語字幕/17分

とある家に介護に訪問した看護師は、テレビを見ながら座っている高齢の男性に声をかけるが…不当な扱いを受けてきたろう者とそれを知った看護師の実話に基づいた物語。



『ワードファクトリー』 The Word Factory ◎国際ナショナルプレミア

監督：アレクサンダー・ラフェール 2019年/アメリカ/アメリカ手話・英語/日本語字幕・英語字幕/18分/ラブコメディ
言葉を作り出す工場で働いている男性と女性。男性は別のビルで働いている女性にガラス越しで一目惚れするが…。



『それしか選択肢はない』 No choice ◎ワールドプレミア

監督：リスト 2021年/フランス/フランス手話・フランス語/日本語字幕・英語字幕/59分/サスペンス
キャバレー「Chez Titi」で働いているドラッグクイーンのヒューゴは、実妹のポーラと再会する。キャバレーにいたマットと恋に落ちるポーラと、見守るヒューゴ。その後予期せず殺人事件が起こってしまう。

◆公募作品 B 7作品(併映)



『大きな静けさ』 Quieter is louder ◎国際ナショナルプレミア

監督：キャサリン・ラエ・ゴンザレス 2019年/フィリピン/アメリカ手話/日本語字幕・英語字幕/8分/ヒューマンドラマ
ろう者の男子学生は険しい顔でリュックを背負い登校する。彼が心の中に抱えていたものは…。



『私たちと電車の間で』 The Train Between Us ◎ジャパンプレミア

監督：ハスナムフィダ/ マーヤン・イルサン 2019年/インドネシア/インドネシア手話・インドネシア語/日本語字幕・英語字幕/10分/ラブロマンス
聴者の女性と別れた若いう者男性。失恋の大きな痛手を引きずる彼は駅のホームで再び彼女と再会する。ろう者の世界と聴者の世界、それぞれの世界で生きる男女の葛藤を描く。



『愛とキスマーク』 Love X Bites ◎ジャパンプレミア

監督：ユウパー・モモ/M.ノエ 2020年/ミャンマー/ビルマ語/日本語字幕・英語字幕/17分/ラブロマンス
新型コロナウイルス禍の時代。耳が聞こえない女性と聴者の女性は検疫のためにホテルに入り、一緒に部屋になる。二人は携帯のテキストメッセージとジェスチャーでやりとりするうちに惹かれ合っていく。R-15指定 ※15歳未満の方はご覧いただけません。



『スカーレット』 Scarlet ◎アジアプレミア

監督：ミルコ・シャイト/ トビアス・レーマン 2020年/ドイツ/ドイツ手話/日本語字幕・英語字幕/14分/ホラーコメディ
メアリーとの関係が破綻し、孤独の淵にいたクリスは、ある晩、意を決してオンラインでとある物を購入する。しかしそれは悪夢の始まりだった。夢と現実の間で観客を内なる狂気の旅へ誘うエロス×ホラー。R-15指定 ※15歳未満の方はご覧いただけません。



『イメージ』 image ◎ワールドプレミア

監督：ピリー・ジェイク・コルテス 2019年/フィリピン/フィリピン語・英語・アメリカ手話・フィリピン手話/日本語字幕・英語字幕/8分/実験
若いう者の画家ソフィアは、オンラインでライブ配信しながら彼女が描いた絵とともに自分自身を取り戻していく。実験映画。R-15指定 ※15歳未満の方はご覧いただけません。



『ソニックパルス』 A Sonic Pulse ◎アジアプレミア

監督：アントワーヌ・マリノット/ ドロシー・アレン・ピカード 2019年/イギリス/イギリス手話・英語/日本語字幕・英語字幕/7分/ドキュメンタリー
共同体、科学、そして本能的感覚の観点から、ろう者・難聴者の電子音楽体験を探求する。



『私が故郷だ』 Me, a Homeland within the HOMELAND ◎アジアプレミア

監督：アハメド・アル＝サンマン 2021年/エジプト/アラビア語/日本語字幕・英語字幕/7分/ヒューマンドラマ
警察署に留置されている、罪を犯した一人の男性。刑事たちの尋問に彼は口を開く。

◆アンコール上映

今までの東京国際ろう映画祭で上映された作品を開催期間中にオンラインで配信します。

『リバー・ポラリティ』『音のない世界で—Sound and Fury—』『音のない世界で—6年後—』

『シニエー手話を話す—』『手話時代』『ヴァンサンへの手紙』

<関連イベント>

東京国際ろう映画祭は上映作品の関連企画として、映画にまつわるシンポジウムやオンライン配信によるトークショーを開催します。オンライン配信・事前予約・参加費無料、情報保障に日本手話・アメリカ手話・国際手話・日本語字幕・英語字幕（※音声は日本語のみ提供）がつかます。

* SYMPOSIUM

「ドキュメンタリーとろう者」 ▶日時：2021年12月10日(金) 20:30-22:00

ドキュメンタリーの定義は様々にありますが、その中の一つに記録映画があり、視覚的な手話を使うろう者や聴者を捉えるのに貴重なメディアとされています。ろう者当事者の今村彩子監督、ろう者の兄を持った SODA(Siblings Of Deaf Adults/Children)の蘇青監督、聴者の松井至監督、彼らはカメラを通して何を見つめてきたのでしょうか。それぞれの立場の眼差しからドキュメンタリーを通してろうの世界を撮っていく行為について語ります。

<登壇者>

- 今村 彩子 愛知生まれ。主な作品に『Start Line (スタートライン)』(2016)『友達やめた。』(2020) 映画『きこえなかったあの日』(2021) など。
- 蘇青 (Su Qing スー・チン) 映画監督・モンゴル生まれ。主な作品に『白塔』(2004)『手話時代』(2010) 『カーロ・ミオ・ベン (愛しき人よ)』(2017)。
- 松井 至 コロナ禍の東京を映した『東京リトルネロ』で貧困ジャーナリスト賞・ギャラクシー賞 (奨励賞) など受賞。主な作品に『私だけ聴こえる』(2021)。

* SYMPOSIUM

「ろう映画の字幕制作の裏側」 ▶日時：2021年12月9日(木) 20:00-21:30

東京国際ろう映画祭の上映作品に日本語字幕と音声情報をつけるのにどのような作業をしているのでしょうか。字幕制作者たちにその裏側を語っていただくとともに、手話言語と音声言語が混ざるが故の苦労や工夫をお伺いします。より良いアクセシビリティのあり方と、作品性との両立について視聴者たちに共有していきます。

<登壇者>

- 山上 庄子 「当事者性」と「作品性」を意識した映画のバリアフリー化を行う Palabra 株式会社代表取締役。字幕・音声ガイド制作に『ドライブ・マイ・カー』『MINAMATA』『花束みたいな恋をした』など。
- 丸山 垂穂 映画字幕翻訳者、手話通訳士。関わった主な作品に『仕立て屋の恋』『ヴァンサンへの手紙』『真実』など。
- 坂本 晶子 バリアフリー字幕制作者、音声ガイドディスクライター、映像翻訳者。BS・CSの放送字幕を中心に活動中。
- 嶋 真希 バリアフリー字幕制作者、映像翻訳者。アニメからプロレス、時代劇など幅広いジャンルの放送字幕を手がける。
- 牧原 依里 東京国際ろう映画祭代表。ろう者当事者として映画の作品モニター検討会に度々参加している。当映画祭ではろう者当事者として作品全体の字幕チェックに携わる。

* FORUM

東京国際ろう映画祭フォーラム 2021 ▶日時：2021年12月11日(土) 14:00-16:00

東京ろう映画祭実行委員会のこれまでの活動と道のりを振り返るとともに、ろう映画制作ワークショップ 2021 ベーシックコースの受講者制作作品を上映します。アフターコロナの中、当映画祭を開催することの意味と作品発信について語る他、東京ろう映画祭実行委員会の今後の展望と課題について共有します。

* CLOSING CEREMONY

クロージングセレモニー ▶日時：2021年12月12日(日) 20:00-20:30 上映回後 ※事前予約不要

あなたの1票が決める！ 第3回東京国際ろう映画祭公募作品の観客賞受賞作品を発表します。

<このプレスリリースのお問い合わせ・事務局>

東京ろう映画祭実行委員会 東京国際ろう映画祭事務局 Fax 045-530-3078 E-mail:office@tdf.tokyo